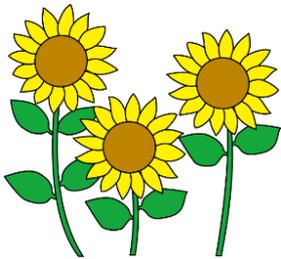




宮川っ子

新しい生活様式で、子供たちは……



学校が再開されてから約1か月半がたちました。例年ならば、「もうすぐ夏休み」で、心がうきうきする頃ですが、今年は、新型コロナウイルスによる休校を補うため、8月7日（金）まで授業を行いますので、これから1学期のまとめに取り掛かります。子供たちにとっては「まとめのテスト」などで、少し憂鬱な時期かもしれません。また、感染症対策のためにプールに入れないことや、「ソーシャルディスタンス」や「マスク着用」などの新しい生活様式を守らなければならないことで、疲れやストレスを感じている子供も多いようです。子供たちが心身の不調を訴えた時には、しっかり対応できるようご家庭と協力していきたく思いますので、よろしくをお願いします。

さて、校区では上市スマートインターチェンジ（上市スマートIC）の建設工事が着々と進められています。この上市スマートICが開通すると、周辺の交通網が充実し、宮川地区の様子も変わるのではないかと思います。これを機会に、ご家庭でも「未来の宮川」「新しい上市町」などについて、子供たちと話し合っただけだと幸いです。

創校 110 周年

今年は、明治43年（1910年）に、東江上尋常小学校と若杉尋常小学校が合併し、宮川村立宮川尋常小学校が創設されてから110年目の年です。ちなみに明治43年は、「地球がハレー彗星の尾の中を通過」「日韓併合」などの出来事があった年です。それから110年の間、いろいろなことがあったようです。いくつか紹介したいと思います。

- ① 最初の宮川小学校は、現在の宮川公民館のあたりにありました。それが、昭和51年に現在の場所に建て替えられました。
- ② 昭和の40年代頃は、若杉・若杉新・荒田などの子供たちが上市中央小学校へ通学していました。児童数も120人から180人ぐらいでした。
- ③ 昭和56年の児童数は394名で、13学級ありました。現在の143名に比較すると3倍弱です。
- ④ 昭和50年代は、当時の文部省から「体力づくり」の研究指定を受け、体育や業間の休み時間に体力づくりの運動に取り組んでいました。その様子は体育館の壁画に残っています。
- ⑤ 平成24年に教室と特別教室にエアコンが入りました。暑い日でも快適に学習することができるようになりました。

あらためて、110年間の学校の歴史と伝統の重みを感じました。



登下校時に

最近、登下校の際に、ヘルメットのあご紐を緩めたり、バックルを外したりしたまま被っている子供が多くいます。このような状態ですと、万が一、交通事故に遭った際に、ヘルメットが脱げて頭を守ることが出来ず、重大なけがにつながる事が予想されます。朝、玄関を出る際には、あご紐がしっかり留まっているか確認していただきたいと思います。



また、雨の日にスニーカーなどで登校したため、靴下がびしょびしょになってしまい、はだしで内履きを履いている子供がいます。



長靴など、雨でも濡れない靴を履くか、学校で靴下を履き替えるなどして、気持ちよく学習に取り組めるようにしてほしいと思います。

お知らせ

今年は新型コロナウイルス対策として、3密を避けるために、例年行っています地域でのラジオ体操は行いません。皆様のご理解をお願いします。